

【基本方針】

SNSが普及して、顔を合わせなくてもコミュニケーションが容易になっている今日、子どもたちが直接人とかかわり相手を敬う大切さを学び、思いやりの心で結びついた和の関係を築ける大人へと成長していくことが魅力溢れる青森の実現には不可欠です。心が著しく成長する思春期を前にした子どもたちに対し、青森で活動している我々がまちの将来を担う子どもたちの心の成長に責任をもって、積極的にかかわり導かなければなりません。

まずは、委員会メンバーが子どもたちの手本となるために、委員会活動ではメンバー同士がお互いを敬い思いやりの心で助け合う和の関係を築くことで、活動に対する想いを高めます。そして、子どもたちを預かる立場として我々の想いや事業の目的を保護者の方々と共有するために、保護者に対しての事前説明会を実施することで、保護者の皆様の安心と事業への共感を得ます。また、子どもたちが相手のことを敬う気持ちをもって行動出来るようになるために、ロールプレイングの中でどういう言葉や態度が相手に不快感を与えるか、好意に感じるかを自ら体験し、自分の何気ないしぐさや目線などが相手に与える影響の大きさを体感することで、子どもたちの今後の成長において思いやりの心の大切さを理解出来るようになる機会を提供します。さらに、子どもたちの心の成長を促すために、親元から離れた環境に子どもたちをおいて、子ども同士が助け合って何かを成し得る体験をさせることで、自立心が芽生え共助の気持ちが自然ともてるようなきっかけを作ります。

子どもたちは、かかわる相手との思いやりで結びついた和を広げて、困難が訪れた時には手を取り合って乗り越え、困った人や弱き人を助けて、人のために行動出来る優しさをもった大人への成長の第一歩を歩み出します。子どもたちが、将来住み暮らす地域へ愛着心を持ち、自ら考え、貢献出来る大人へと成長をとげ、魅力溢れるまち青森を実現します。

【事業計画1】

1	事業名	礼を育む青少年事業【公1】
2	目的	相手を敬い思いやりの気持ちをもってもらうため
3	内容	態度や行動が相手に与える影響を理解し、思いやりの心を育む事業

【事業計画2】

1	事業名	感性を育て心育てる青少年事業(8月例会) 【公1】
2	目的	心の成長を促すため
3	内容	子どもたちが日常と違う環境の中で協力し合い目標をたて、自立心と共助の心を育む事業